

平成 26 年第 2 回可児市議会定例会 一般質問通告一覧表 6 月 10 日 (11 日・12 日)

	質問者	質問項目 (答弁者)
1	林 則夫 (自民クラブ)	<p><u>1. 富田成輝市長の二選出馬について (市長)</u> 二選目出馬に向けての御決意を伺います。</p> <p><u>2. 投票率の低下防止について (選挙管理委員会書記長)</u> 現行の期日前投票を市内各連絡所で実施することはできないか。</p> <p><u>3. 可児川の水位低下と流量減対策について (建設部長)</u> 新丸山ダムから可児川への導水により水位を確保しふる里川の景観を保全し護岸保護を管理することを徳山ダムからの木曾川導水と関連して国に対し強く要望すべきであるがいかに考えるか</p> <p><u>4. 空き家の活用について (企画経済部長)</u> 自治会企業役所と連携して市内企業の社宅として特に新婚さんに無償貸与 (家と屋敷回りの管理を義務づけ自治会行事には積極的に参加させることを条件) し、子供支援に当てることにしてはどうか</p> <p><u>5. 高齢者の自動車運転免許の更新について (総務部長)</u> 可児市内で高齢者講習会を受講して免許証の発行は多治見市であり高齢者には誠に苦痛である可児市内で更新発行できる方法はないか</p>
2	酒井 正司 (誠颯会)	<p><u>1. 市長任期内の市政運営総括を (市長・副市長)</u> 市長の任期が満了に近づきました。任期内における市政運営の総括を行うために、当初掲げられた政策を確認し、結果との比較をお伺いします。また、次期市長選挙への態度表明をお願いします。</p>
3	澤野 伸 (誠颯会)	<p><u>1. 学校教育法施行規則の改正により、本市での土曜日授業実施に向けた検討はされているのかを問う (市長・教育長)</u> 学校教育法施行規則の改正で、各自治体の教育委員会の判断で土曜日授業ができること明確化したが、土曜日授業実施に向けた本市の考えはあるのか。また地域と連携した総合学習などの検討はされているのかを問う。</p>
4	出口 忠雄 (新当クラブ)	<p><u>1. 高齢者の力を活用した地域の活性化。 (市民部長・健康福祉部長・企画経済部長・企画経済部参事)</u> 少子高齢化が進む中、高齢者の知識・経験・活力を活かした少子高齢化対策・課題への取り組みについて伺う。</p>

	質問者	質問項目（答弁者）
5	富田 牧子 (日本共産党 可児市議団)	<p><u>1.医療・介護総合法案は本市介護保険にどのような影響を及ぼすか（健康福祉部参事）</u> 現在、国会で審議中の医療・介護総合法案は要支援者のサービス削減や特養入所対象の限定など、今までの介護の仕組みを根底から突き崩す中身となっている。来年度から始まる第6期介護保険計画にどう影響するのか。</p> <p><u>2.就学援助の拡大を（教育委員会事務局長）</u> 就学援助は、「義務教育は無償」とした憲法第26条などに基づき、経済的に困難な小中学生のいる家庭に学用品や入学準備金、給食費などを補助する制度だが、新たな品目の追加や上乘せ支給などが望まれる。</p> <p><u>3.Kルート of 安全確保を（企画経済部長）</u> Kルートとして、13のモデルコースが発表された。それぞれのルートに歩道が確保されているのが望ましいが、きちんとした歩道が設置されていない場合でも、路側帯が引かれていれば、安心して歩行ができる。</p>
6	小川 富貴	<p><u>1.次世代に残す可児の自然（教育委員会事務局長）</u> 可児市東部の湿地には、ミカワバイケイソウを始め、ショウジョウバカマ、シデコブシ、そしてカタクリの群生が見られます。また、花の時期にはギフ蝶の姿も見られます。貴重な自然を次世代に残す施策を問う。</p> <p><u>2.可児駅前を世界への結節点に（企画経済部長）</u> 市内には、27カ国5310人の外国の方々が居住しておられる。この方々の多くは生産年齢人口であり、まさに子育て世代でもある。互いに市民として生き活かし合える交流の場を体現することは出来ないか。</p>
7	伊藤 英生 (民主ネット 可児)	<p><u>1.小学校のラジオ体操への取り組みは（教育委員会事務局長）</u> 小学校での指導がラジオ体操からストレッチに移り、ラジオ体操の経験の浅い世代が拡大している。夏休みの朝のラジオ体操の運営にも支障をきたしており、地域連携や生涯学習の重要性が叫ばれる中、市の対応を問う。</p> <p><u>2.入札不調の状況と今後の対応は。（総務部長・企画経済部長・教育委員会事務局長）</u> 公共工事の入札で受注者が決まらず不調となるケースが全国的に増えている。東日本大震災の復興や東京五輪の開催決定で、建材や人件費が高騰していることも要因と考えられるが、本市の状況と今後の対応について問う。</p>

	質問者	質問項目（答弁者）
8	野呂 和久 （可児市議会 公明党）	<p><u>1.成人用肺炎球菌ワクチンについて（健康福祉部参事）</u> 国は、今年4月から成人用肺炎球菌ワクチンを含む2ワクチンを予防接種法に基づいて自治体が行う定期予防接種に加えた。10月からのワクチン接種開始が新聞等で報道される中、本市の実施時期等を問う。</p>
9	山田 喜弘 （可児市議会 公明党）	<p><u>1.自治体主体のクラウドファンディングによる資金調達について（企画経済部長）</u> 賛同するアイデアやプロジェクトに対して、インターネットを介し、誰でも簡単に寄付や少額のお金を支払うことのできる仕組みであるクラウドファンディングについて本市の見解を問う。</p> <p><u>2.高齢者等の見守りに救急情報ネックレスの活用について（健康福祉部参事・健康福祉部長）</u> 本市では、冷蔵庫に保管するタイプの救急医療情報キットを配布している。しかし、外出時の緊急時には活用が難しい。外出時でも情報が把握できる器具「救急情報ネックレス」の活用について本市の見解を問う。</p>
10	板津 博之 （誠颯会）	<p><u>1.防犯灯設置補助金のあり方（総務部長）</u> 防犯灯は維持管理費が低減できるLEDへの切替えが急増しており、設置補助金も年々増額している。しかしながら、年度初めに早く申請した自治会に交付されているのが実態である。今後の補助のあり方について問う。</p> <p><u>2.MCA無線の受信状況は改善されたか（総務部長）</u> 先日行われた水防訓練では本部と消防団及び連絡所とのMCA無線を使った情報伝達訓練が行われた。昨年の訓練時に受信状態が悪かった連絡所などの受信状況は改善されたのか。また使用者への操作説明は十分だったか。</p> <p><u>3.キッズクラブの管理体制は万全か（健康福祉部長）</u> キッズクラブに関する条例が施行され1年余りが経過するが、それぞれのキッズクラブにおいて、指導員の数や施設の安全面などの管理体制に問題はないか。また学校側との連携はしっかりと取られているのか。</p>

	質問者	質問項目（答弁者）
11	伊藤 健二 (日本共産党 可児市議団)	<p><u>1.リニア地上走行被害から住民の防護を（市長・企画経済部長）</u> 県知事が市の要請を軽視し、リニア地上走行を認めても、住民被害は消えない。住民の命、暮らしを守る為、市長は地下化要請を続け、市民と地域を守る立場を貫くべきだ。市は深刻な被害実態に目をつぶってはいけない。</p> <p><u>2.兼山の歴史的町並み街づくりを本格的に始動を（市民部長・教育委員会事務局長・企画経済部参事）</u> 歴史文化財と地域振興、町並み作りを一体的に進め、合併特例算定の期間終了前に、新しい振興のいわゆる「可児市特区」作りを提案する。</p>
12	山根 一男 (民主ネット 可児)	<p><u>1.卒業後の障がい者の就労支援の状況は（健康福祉部長）</u> 特別支援学校や支援学級を卒業する子は増え続けている。障がい者の就労を促進してゆくことは、長期的に見ても重要な課題である。現在の取り組みや、今後の方針について問う。</p> <p><u>2.市民課窓口業務の外部委託について（市民部長）</u> 7月より、市民課の諸証明受付窓口の業務が外部移管される。予算審議でも議論されたが、これに伴い大幅に経費が増加する。真に市民サービスの向上や働く者の生活改善につながってゆくのか見定めたい。</p> <p><u>3.可児やすらぎの森は活用されているか。（建設部長）</u> 可児市を代表する公園のひとつに『可児やすらぎの森』があるが、あまり利用されていないと感じる。バーベキュー広場等もあるが規制が多すぎる。真に市民から愛される公園として再整備すべきではないか。</p>

この一覧表は、議員から提出された発言通告書の件名・要旨欄からそのまま掲載したものです。